



日刊 日七十月二
支那新聞社
支那新聞社
支那新聞社

十四回の專變國債

平局に六萬一千圓

明後十九日からの賣出しに
豫約すでに四萬六千圓

第十四回の支那專變國債は明後十九日から三月一日までの賣出しである平郵便局に對する今回の割當では
十圓券一三〇〇枚(一三〇〇〇圓) 二十圓券四一〇枚(八二〇〇圓) 二十五圓券六〇枚(一五〇〇圓) 五十圓券六〇枚(三〇〇〇圓) 百圓券八〇枚(八〇〇〇圓) 五百圓券一五枚(七五〇〇圓) 千圓券二枚(二〇〇〇圓)
の額面金額六萬一千二百圓であるが平市及び飯野村からの財政補給交付による購入の申込みがあるもので其の他を合せると約四萬六千圓に達し、残り一萬五千二百圓となつてゐるので締切り前に

貯蓄債券も 好消化の見込

平市で一萬數千圓 事變國債の賣出しが終るものに引續いて第十六回の貯蓄債券(十五圓券の十圓賣り)は三月五日から同月二十六日まで賣出されるが同券は平局に割當されるもの大体三千圓ぐらゐかと豫想され同債券は市内各銀行にも取扱はれるので總額一萬數千圓に上るものと如くこれまた地方の好状況から順調な消化であらうと唱ひられてゐる

五月頃から開校の 縣立工業學校敷地

舊商業学校の假校舍は別し 本校の位置は相當問題

新設される平市の縣立工業學校は委員の努力による寄附募集額と起債十萬圓を合せて四十八萬圓弱に過ぎつたので取敢へず採辦冶金と電気科を設け来る五月頃からの開校に準備をすゝめてゐるが尙ほ寄附募集に數萬圓を見込み校舎

講習會を経て 剣道階級試験

武德會縣支部主催の第十八回 武道講習會は明十八日の階級

平驛の二月上旬貨物 舊正の割合に動かず

だが千二百二十一圓の増収

平驛に於ける二月上旬貨物は舊正月に相當したもので其の増収は若千見込まれたが動きは其の割合でなく
發送二五噸(一六〇〇圓) 六五〇噸増、到着六三三噸(六二七九圓) 七八八噸増、到着六七三三噸(五六六一圓) 二二四噸増(括弧内は前年同期)
は例月に比較して大して變りは

戦地の便り

蔣介石君の乾兒は なかく 生意氣だ

其の後は意外の御無沙汰にて申辭ありません、出征以來二ヶ年半食して寝ると云ふより陣地の生活は戦ひが本願です、幾度かの砲火と幾度かの死線を越えて元氣で居られるのは皆様の神佛をかけての御加護の賜ものと感謝の外ありません、暫

支那新聞社
支那新聞社
支那新聞社

陣中から寄附

小名濱町の上町出身で中支戦線に活躍中の根本要君は同町に於て新設工事中の第二小學校が暴風のため倒壊せるを聞き其の復舊工費の中へと町役場宛金十圓を寄附送付した

防空群國防献金

石城郡大野村の玉山第三第四家庭防空群は各二十五圓を國防献金四圓寄附に寄託した

警官二次異動

平署警務部長若松へ 縣警務部では署長の移動に因り新任警務部長五名ならびに同署警務部長七名の異動のほか三十一名に及ぶ第二次異動を昨十六日發表した平署關係左記の如くである
▲警務部長若松へ 警務部長若松へ 警務部長若松へ

湯本の自轉車泥

石城郡湯本町の土町二八炭礦坑夫添田寅吉(三)は去月廿一日午前六時頃同町天王崎丸通

演出

大森 勇

戦地が一番嬉しいのは、何と云ふても内地からの便りと感問品だ。使丁が手紙と感問品をかついで船の梯子段を昇つて来ると、看護婦はワイワイ集つて来る。自分に來た手紙を受取つて、船舷に凭れて獨り笑ひし乍ら讀んでるのもある。自室の隅の方で額に皺を寄せ乍ら心配に讀んでるものもある。二人額を集めて一通の手紙を讀み耽つてるのもある。そつちでもこつちでも内地よりの保りを食ひ讀んでる

演藝慰問参加

平市から三名 戦線の將兵に對する生きた慰問として郷土演藝團一行中隊に第一線勇士に歌はれた平市中島湖洲氏は前回の同一行に加はつた山下八重子さん外一名と共に近く派遣される第三回の演藝慰問團に参加方を市を通じて縣に申込んだ

同宿者から盗む

石城郡好間村の上好間古河炭礦田中合宿所方熊谷金吉(三)當時住所不定無職は去月廿九日夜十一時頃同宿の佐々木安雄所有トランク一個及び在中の洋服その他十數點價五十圓を窃取し好間村を徘徊中取押へられた

佐川氏聯合理事

今同創設された福島洋服商業組合聯合會は役員を選任を行

思ひまゝに

風景は人情の絶景とでも云ふのか。金持は貧乏人の心理状態を理解し得る如く、家庭の愛情に飢えてる戦線の人々の氣持は休養者でなくてはならぬ。内地からの便りが來なくなると、ラヂオに依つて東北地方のニュースを聞くのが楽しみだ。東京放送局の天気豫報で茨城縣地方雨など、放り送られると、すぐ隣の平も雨かと思つて心が濡れて来る。平の地盤が放された時は驚いた。家が倒壊したのであるまいかと思つた。家族の者共は死んでしまつたのであるまいかと心配した。故國を遠く離れて便りの断片だけが耳に届く。淋しい光は吾々の今夜の運命へとも氣持が懸る。

運送店自動車庫内にある町内坂田三八長谷川誠一所有中古自轉車一台卅圓を窃取し十五日湯本町で平署に檢査さる

ホシエス二色
シャープペンシル
一本金五拾錢以上
シャープでしたら一流
品ホシエスを御指名願
上げます。
御進物としては立派な
化粧箱を用意して御座
ります。

文魁文堂
電話三三三番

湯本の自轉車泥
石城郡湯本町の土町二八炭礦坑夫添田寅吉(三)は去月廿一日午前六時頃同町天王崎丸通

